Project

①

地域協働専攻

国際協働グループ

地域プロジェクト（2018 後期～2019 前期）

函館市民による函館市民のための市民講座

【メンバー】　［学　生］　花山　嶺/五十嵐　彩音/桑村　玲華/佐藤　千草/高田　香菫/若佐　紗希
［担当教員］　飯山　雅史

【背景】

学生の調査から、函館は「魅力度で一位になったことがあるが同時に幸福度は最下位になったことがある」という特徴ある背景がある街であると分かりました。この特徴から私たちの函館に対する課題意識は「幸福度が低いと感じたまま生活している人がいるのではないか」というものになりました。

【目的】

課題に対してどのようなアプローチをしていくのかを考えた時、私たちは幸福度という言葉を身近な生活の中の満足、すなわち一人一人の生活の質であると解釈し、幸福度という名の生活の質の向上を目的に据えました。

【概要】

函館市民の生活の質の向上のため、函館に関連する人物の市民講座により、函館ならではの幸福の形を市民の方に再発見していただくことを目指しました。

実際に行ったことは講演者の選出と依頼、講演会の集客方法の考察、チラシ配布などの広報活動、そして講演会後のアンケートの実施です。

【プロセス】

前半

① 市民講座のテーマ決め
② テーマを話せる人物探し
③ 中間報告会

後半

① 市民講座の実施
② 広報活動
③ アンケート実施
④ 最終報告会

第一回市民講座　講演者　大泉　潤さん

幸せの形は人それぞれ。函館には多様な自然や文化があり、探そうとすると函館ならではの幸せが見つかるかもしれない。

第二回市民講座
講演者　庄司　寛さん、田山　光幸さん

食べ物が作られるまでの生産者のストーリーを知ることで食べ物一つ一つに幸せを感じるようになるかもしれない。

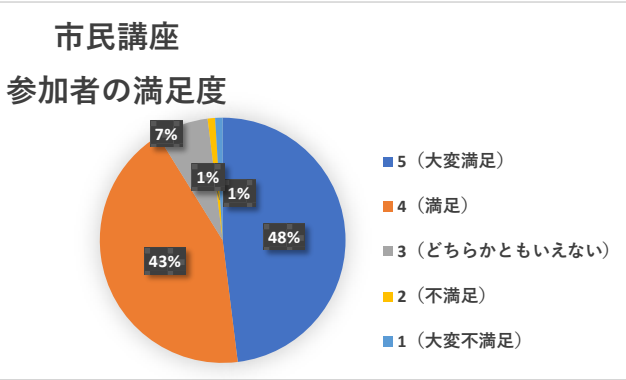
第三回市民講座　講演者　原崎　千鶴子さん

日常生活で少しでも正しい姿勢を気にすると健康と美容につながる。意識し実感につながる体に気付けることは幸せかもしれない。

【成果】

講座ごとにアンケートを取ってきました。

満足度は非常に高い数値を取っており、函館市民（参加者）が「生活の質」について考えるきっかけ作りは十分にできたと考えられます。



【総括と反省】

前半
　市民講座を行うにあたって「なぜ行うのか、どうして行うのか」をしっかりと話し合えた点は非常に良かったと感じています。しかし、市民講座実施後に感じたこととして「幸福度ランキングの指標には食の分野がなかった」ことに対して『生活の質を学生の討論の末に食を含む 3 分野にしたので大丈夫、そもそも幸福度は個人の指標であるべき』という意見と『幸福度ランキングの最下位を話題の切り口にするのであれば、要素は合わせるべき』という意見で若干分かれた時がありました。「なぜ行うのか、どうして行うのか」というテーマと目標設定の際にはより深く学習が必要だったと感じました。ここが足りないことが自ら設定したテーマと目標への不信感へ繋がってしまいました。

後半
　市民講座の実施にあたり 3 回の講座ごとに担当者を決め、当日の準備を円滑に進められた点が非常に良かったです。学生の一人が「この地プロは作業分担が上手にできているから、一人が疲れちゃうことがない」と言っていたが正にその通りであったと感じました。

【今後の課題】
　私たちの作った市民講座は私たちの設定した「生活の質に気づくきっかけ」という点で成功したといえると思います。市民講座では回ごとにアンケートを実施してきました。その項目の中に「気になる話題や分野がある方は教えてください」という質問がありました。この自由記入の項目への回答が非常に多かったことに「函館市民が本当に気になっているものに地域プロジェクトではどれだけ応えられているのだろうか」と疑問を抱きました。このことから、私たちのグループでの今後の課題は「大学という研究機関は函館市民のニーズをしっかりと分析し、それにこたえていく必要がある」というものを提示したいと考えています。
※今後の課題の担い手は誰になるのかは議論が必要であると感じます。

【地域からの評価】
○「来年もぜひ行ってほしい」と好評の声をいただく機会が多々ありました。
○「学生と話をすることや大学に来ることはあまりないから楽しかった」
○市民講座のリピーターが複数人いました。
　以上の点から地域（参加者）からの評価はよかったのではないかと考えます。

【函館市民の気になる話題】※一部抜粋
　函館の産業振興はどうすべきか
　地産地消
　やさしい日本語
　姉妹都市との活動と進展
　函館の歴史・歴史的建物について
　旧市街に市民が住む事の推進
　函館のおもてなし
　オリンピックと函館
　市民がお互いに話せるイベント
　函館の市民による自慢大会
　函館の文化・地域色・産業
　今後の函館の食生活と食産業
　道南の中核都市としての函館
　函館だからできること

【その他】
年間スケジュール

前半
10 月　市民講座で行いたいことのブレスト
11 月　市民講座のテーマ決定
12 月　市民講座の講演者選定
 1 月　第一回市民講座広報準備
　　中間発表会準備

後半
市民講座の実施と広報活動、アンケート実施
○第一回市民講座　5 月 10 日
　講演者　大泉　潤さん
　「素晴らしき哉、旅と出逢い」
○第二回市民講座　6 月 19 日
　講演者　庄司　寛さん、田山　光幸さん
　「道南、どうなん？」
○第三回市民講座　7 月 14 日
　講演者　原崎　千鶴子さん
　「日常生活の中にスパイスを」

7 月 13 日　最終報告会
7 月 27 日　地プロを考える会へ資料提出